

『減災対策支援室』の活動紹介

庶務課課長代理（災害対策担当） 小間 彩

広尾病院は、東京都の基幹災害拠点病院に指定されています。「災害拠点病院」とは、災害時に主に重症者の治療や収容を行う病院です。その中でも「基幹」災害拠点病院は、他の災害拠点病院に対して教育や研修を行う機能を有します。つまり、他の災害拠点病院等の模範となる災害の取組を率先して実施し、広めていく役割があるのです。

この役割を果たすため、広尾病院では平成28年度から「減災対策支援室」を設け、都内の他の医療機関等の減災対策を「支援する」様々な活動を行っています。

災害対応力向上研修の実施

他の医療機関職員や行政関係者を対象にして、災害時に適切な対応ができるよう、実践的な研修を行っています。

演習を中心とした内容は参加者から非常に好評で、毎回都内外の様々な医療機関等から80～100名が受講します。「勤務する職員が少ない休日・夜間に発災したら？」「病院施設が本当に停電したら？」などのリアルな想定を真剣に突きつめて考える機会を通じ、多くの医療機関が確実に災害対応力を高めていけるような研修を続けています。



第28回都民公開講座

テーマ 災害を想像してみよう！正しく恐れて行動しよう！
日時 平成31年2月16日（土）午後3時～午後4時
場所 当院外来1階外来待合スペース

参加費無料、事前申し込み不要です。当日直接会場にお越しください。

減災カレンダーの開発・普及

職員向けの日頃の減災教育として「減災カレンダー」を開発・実施しています。

これは院内の各部署で、おおむね1週間に1度、1ページずつカレンダーをめくってちょっとした減災の取組を行っていくことで、日常的に防災・減災意識を高めるものです。また、この「減災カレンダー」は今年度から無償で他の医療機関等の施設にもデータ提供しており、12月1日現在で都内外の57施設（延べ）に広がっています。



広尾病院総合防災訓練の企画・実施・外部への公開

広尾病院では毎年9月に地震災害を想定した総合防災訓練を実施しています。

この訓練も他施設の見本となるよう、毎年さまざまな工夫を凝らして企画・実践しており、その成果を他の医療機関・行政職員等に見学してもらっています。

なお、今年度の訓練は東京都の公式動画チャンネル「東京動画」で公開されています。プロの制作会社によって撮影された動画は、ドキュメンタリータッチで一般の方にもわかりやすく作成されています。何より、真剣に訓練に取り組む職員の様子が熱いです！ぜひ一度ご覧になってみてください。



◆ 東京動画URL：

<https://tokyodouga.jp/rpTpwPqN4Vk.html>

「東京動画」で検索の上、トップページ⇒

スペシャル⇒都の政策からもご覧いただけます。



発行 | 東京都立広尾病院広報委員会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-34-10 電話番号03-3446-8331 (予約専用)

URL <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/hiroo/>